

JA全農えひめ情報

# みくにへと

2024  
2-3  
Feb. Mar.

特集

肥料を取り巻く情勢、  
およびJAグループにおける  
肥料事業への取り組み



全農

JA全農えひめ



▲温度計（右）が揺れ、甘い香りが充満するせとかのハウスにて



▲せとか。収穫の時



▲ハウスが林立する様は壮観



▲阿吽（あうん）の呼吸で作業する真治さん（左）と、父の浩司さん（右）

宇和島市吉田町立間のハウスでは、宮川真治さん（27歳）がとろけるような濃い甘みの愛媛県オリジナル品種・甘平の収穫を終えて一段落。続いて、1月下旬からは「かんきつのサラブレッド」といわれるせとかの収穫が始まります。代々かんきつ農家の宮川家ですが、真治さんは農業を継ごうと思っていなかつたそう。気持ちの変化は大学4年の夏、西日本豪雨で被災した地元を助けたいという強い思いにありました。父であるJAえひめ南の味楽共選・副共選長の浩司さんにその思いを伝えると、「一度は社会経験をした方がいい」というアドバイスのもと農業資材の会社に就職し、2年前に生産者への一歩を踏み出しました。

宮川さんの園地はハウスと露地7ヵ所に広がる2・5ha、温州みかん、紅まどんな、デコポン、ポンカン、甘平、せとか、ブラッドオレンジ、紅プリンセス、河内晩柑と多品種を栽培しています。スポーツが大好きで体力に自信のある真治さんは腰が痛くなったり…と想像以上に体を使う仕事だと実感します。「継承に嬉しそうだった父も、仕事ではなかなか口うるさい」と苦笑い。父の背中を見ながらの収穫作業は半年以上にわたり、全種の収穫を終えた4月の達成感は最高だと思います。「将来的にはハウスを増やし、紅まどんなや甘平など高級かんきつを増やしていきたい。周囲の後継者の人たちと一緒に産地を盛り上げていきたい」と語る背中はひとまわり大きく見えました。

## 甘平、せとかの収穫 (宇和島市)

# みぐり～ど

2024年2 - 3月号

## CONTENTS

### 全農グループの経営理念

私たち全農グループは、  
生産者と消費者を安心で結ぶ  
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

### 今月の表紙



家族でいちご狩り。わあーっ！ おいしそう！ あたたかなハウスの中では真っ赤ないちごがたわわに実っています。大きないちごを一口、パクリ。左手はもう次のいちごへ。「食べ放題だから急がなくても大丈夫よ」とおかあさん。ほっぺをいちご色に染めながら、お口と手は動き続けています。いろんな種類をいっぱい食べて楽しんでね。

●表紙：いちご  
米田 こよ実（イラストレーター）

※「あぐり～ど」は、「愛媛農業（Agriculture）」を「リード（Lead）する」という意味と「心を一つにする（Agreed）」という意味を込めています。

農の風景－応援！農業人－ Vol.238

### 甘平、せとかの収穫

②

〈特集〉

**肥料を取り巻く情勢、  
およびJAグループにおける  
肥料事業への取り組み**

⑧

ふるさと ESSAY VOL.306

**マーケティングの力で  
食と産業を盛り上げる  
パパイズムさん**

⑩

トピックス

⑪

TOPIC NEWS

⑯

READERS通信

NOW NOW COOKING

〈今月の素材〉 ブロッコリー

JA全農えひめ

**ホームページ**

<https://www.zennoh.or.jp/eh/>



■お取り寄せ・JA全農えひめ直販ショップ  
<https://www.ja-town.com/shop/c/c7201/>  
※愛媛の旬の農産物と加工品をお届けします！

■JA全農えひめ「えひめの食」企画  
<https://www.zennoh.or.jp/eh/food/>  
※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。

◆えひめ飲料  
<https://www.ehime-inryo.co.jp>

◆JAえひめアイパックス(株)  
<http://ai-pax.jp/>

◆JAえひめフレッシュフーズ(株)  
<https://fresh-ranran.jp/>

◆ひめライス  
<https://www.himerice.jp/>

◆JAえひめエネルギー(株)  
<http://www.ja-ehimeene.co.jp>

◆JAえひめ物流(株)  
<https://www.jat-ehime.co.jp/>

# 肥料を取り巻く情勢、 およびJAグループにおける 肥料事業への取り組み

（生産資材部 肥料農薬課）

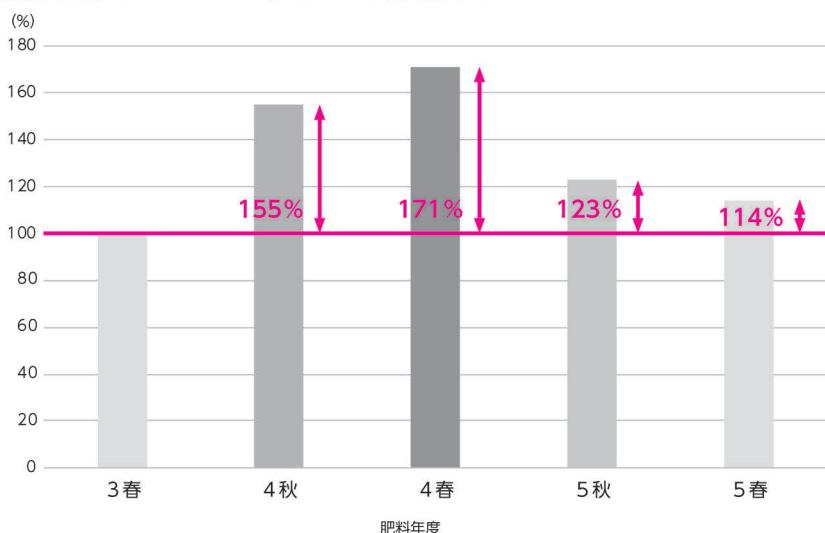
手をかけて  
子育てのよう  
に  
土づくり



## 1. 令和5年度春肥（11月～5月）価格について

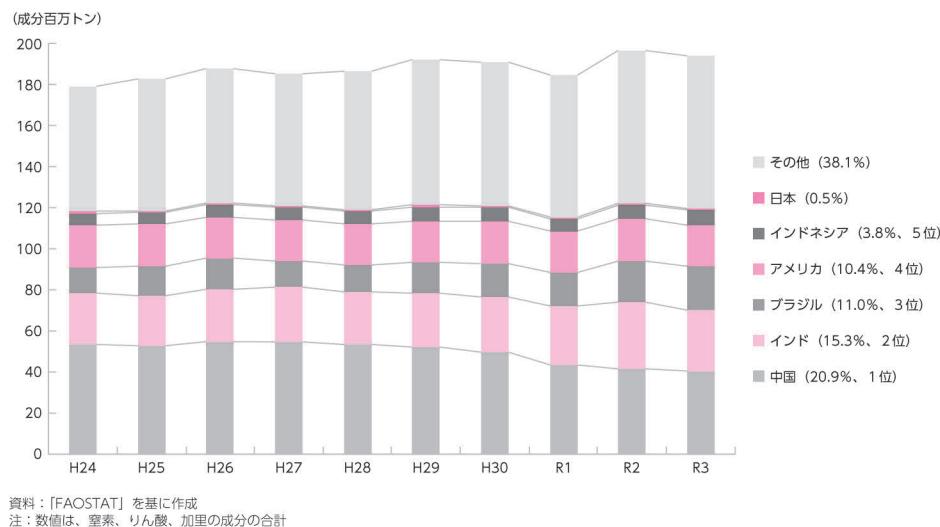
国内における肥料価格については世界情勢の影響を受けやすく、特に原料の大半を輸入に依存する我が国においては、急激な価格変動による影響を緩和することを目的に秋肥（6月～10月）と春肥（11月～5月）の年間2期に分けて供給価格を設定しています。直近の肥料価格については令和5年11月1日より適用されている令和5年度春肥価格となつておりますが、ロシア・ウクライナ情勢、中国の肥料輸出規制、OPECプラスによる減産体制維持の影響を受けた原油価格の高騰などの世界情勢を背景として、県内農業場面に多大な影響を及ぼした令和4年度春肥の高騰時に比べると指標銘柄の価格指数では約66%となつており、一時期の価格高騰からすれば、若干の落ち着きを見せている状況です。しかしながら、価格高騰以前の令和3年度春肥と比べると、約114%と肥料価格高騰は継続しています。また、世界の肥料需要

## 指標銘柄（15-15-15）による価格推移



における日本の発言力が小さくなる一方で、インド・ブラジル・南アフリカ・インドネシア・サウジアラビア等のグローバル・サウスと呼ばれる新興国や途上国の人口増加や経済発展に支えられた肥料需要は非常に旺盛であり、こういった状況は、今後の世界情勢を鑑みても、継続していく予想が大半となっています。

## 世界の肥料消費量の推移（出典：農林水産省HPより）



上げの経験を踏まえ、肥料原料が年度内で価格変動することを防止・緩和するために、JAグループでは昭和56年から、JA・経済連（当時）・全農の3段階で、「肥料協同購入積立金」の造成を開始しました。

これはJAグループのみの取り組みであり、期中で値上げせざるを得ない場合には、肥料協同購入積立金を取り崩し、その肥料価格期間は契約数量の範囲内で農家への供給価格を据え置くなど、急激な価格値上げの緩和対応をとるためのものです。

積立金造成以前の大幅値上げは第1次オイルショックの時であり、昭和48年..+40%、昭和49年..+30%と、約70%の価格値上げが実施され、第2次オイルショックの時には昭和54年..+20%、昭和55年..+15%と約35%の期中での価格値上げが実施されました。それ以降の過去3回の価格値上げでは「年間契約数量（当時）」について、積立金を取り崩すことにより、JAへの供給価格を実質据え置き、農家渡し価格の値上げを回避することができました。

直近の令和3肥料年度春肥価格期中改定時

## 肥料協同購入積立金の過去の取り崩し

肥料年度	期中改正率	取り崩し額	改定理由
平成2肥	窒素単肥1.39%	2億円	湾岸戦争の影響による原油価格の高騰による窒素の値上げ
平成7肥	1.94%	11億円	円高の反動（85円→102円）、原油価格・海外尿素市況が値上がり
平成19肥	高度化成 9.05% 加重平均 6.66%	34億円 (4-6月)	りん酸・加里の原料価格の高騰
令和3肥	高度化成 5.9%	26億円 (12-5月)	尿素・リン安・加里の原料価格高騰

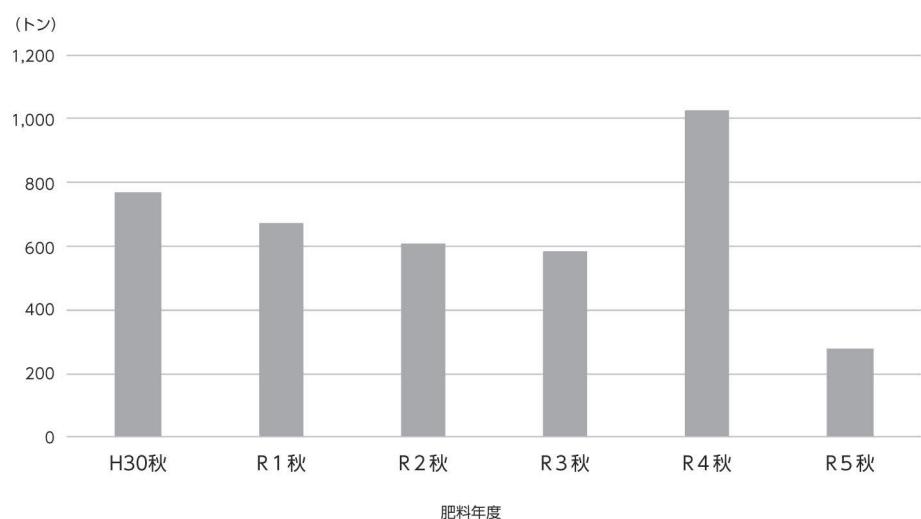
についても、期別契約数量を上限に供給価格を据え置き、受入金額の上昇相当額は、全農本所、県連・県本部、JAの順で肥料協同購入積立金を取り崩し、急激な値上げ幅を抑制する対応を実施しました。



### 3. 事前予約共同購入（集中購買品）による価格低減の取り組み

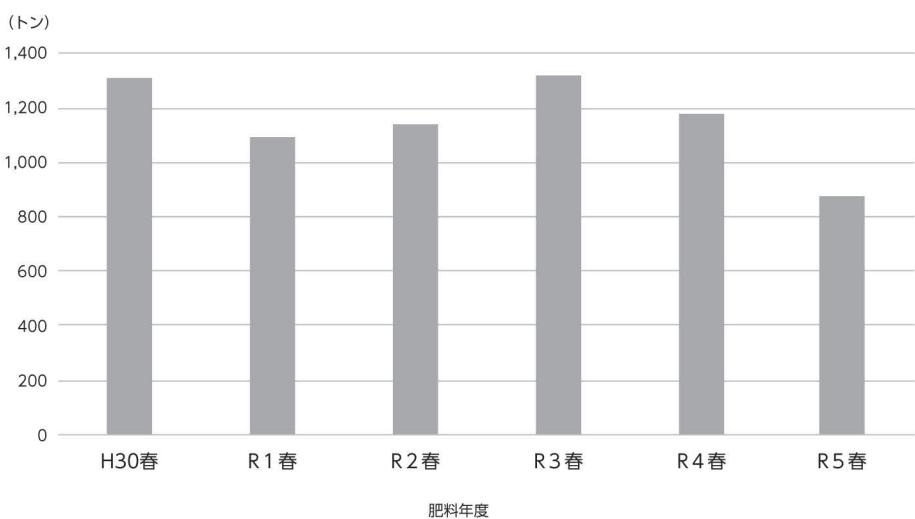
平成30肥料年度春肥から開始した取り組みである「事前予約共同購入」について紹介します。汎用性の高い品目（14-10-13、14-14-14）について、価格水準の引き下げを実現するため、秋肥・春肥ごとにJAから事前予約数量を募り、ブロックで結集することに

#### 集中購買品の数量推移（秋肥）



よって肥料メーカーの生産効率を向上させ、事前予約数量を基に、最も安価な価格を提示した肥料メーカーから購入する「集中購買」を展開しています。また、受渡条件について、原則12トンの大型車満車とし、輸送時に使用

### 集中購買品の数量推移（春肥）



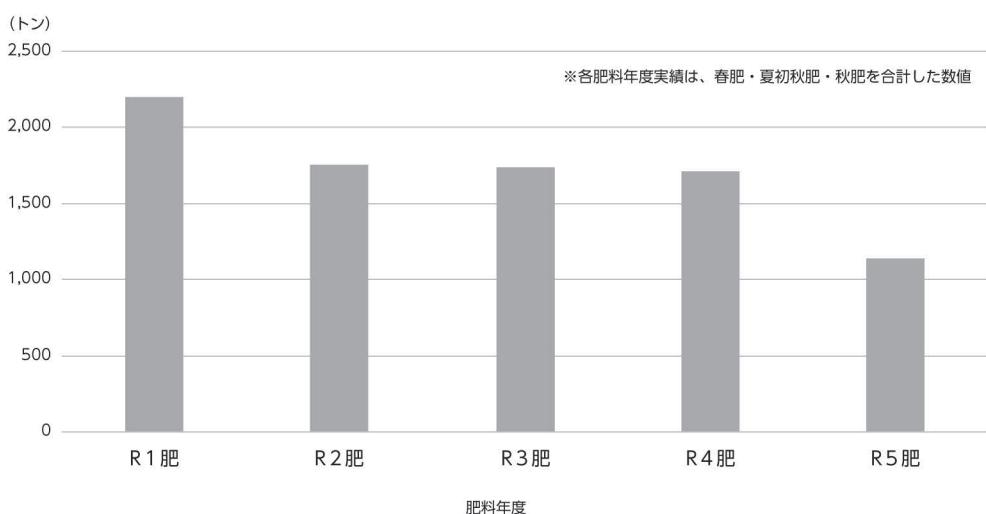
するパレットについては、JA持込パレットや指定業者のレンタルパレットを使用することで、手積み・手降しの負担が発生しない対策を実施し、物流場面における効率化と安定供給にも取り組んでいます。

### 4. 愛媛県果樹統一配合肥料の取り組み

そこで、65銘柄の成分・有機率・原料の種類、また設計上重視する点や、課題を洗い出し、各JAの営農指導員が主導する形で銘柄集約について協議・検討を行いました。協議の結果、産地ごとのこだわりを反映し、新たな7銘柄に集約を図り、平成31年春肥より取り組みを開始しました。価格決定については、指名競争見積会方式を執ることで、最も安価となるメーカーに決定することとし、

愛媛県の果樹配合肥料は、高品質安定生産のため地域ごとの土壤実態や気候、品質面やコスト面なども含め、各産地で生産者やJAの意見をもとに作られてきた経過があり、その結果、産地ごとに多くの銘柄（計65銘柄）が生まれました。しかし近年、生産者の高齢化や担い手不足等で産地基盤が縮小していく中、肥料1銘柄当たりの使用袋数が減少している状況もあり、安価で安定供給を行うことが難しい状況になりました。

### 愛媛県果樹統一配合肥料 数量推移



物流面についても「JA持込」「工場置場引取」など、決定した工場とJAごとの立地を勘案して一番効率の良い配送体制を選択できる仕組みとしました。

設計内容は、肥料情勢や予約数量等を確認

し、状況に応じて見直すこととしており、直

近では令和4年の肥料価格高騰の中、設計内

容を変更し、原料の安定確保や肥料価格低減

を実現しました。

さらに予約数の少

ない銘柄や粉状配

合については集約

し、令和5夏初秋

肥より5銘柄（粒

状のみ）となっ

ています。

今後も果樹場面

での肥料需要の集

約や肥料情勢に応

じた設計内容の見

直しを行っていく

中で、さらに多く

のJAに参画いた

だき、安定供給・

価格低減に取り組

んでいきます。



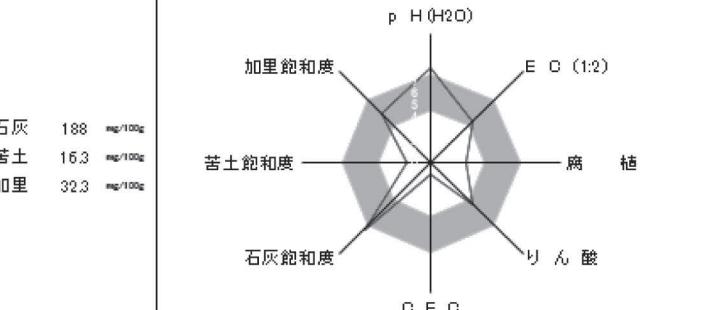
### 土壤診断結果に基づく処方箋（例）

レーダーチャートで  
バランスを可視化

#### 分析値と改良目標値。 過不足を判定

分析項目	基準	分析値	改め目標値	判定
pH(H <sub>2</sub> O)		6.7	5.0 - 6.7	やや高い
EC (1:2)	150µm	0.77	0.5 - 1.5	適正
腐植	9%	3.03	4.0 ±	やや低い
りん酸	mg/100g	42	30 - 200	適正
C E C		8.7	20 ±	低い
塩基飽和度	%	94.4	80 - 100	適正
石灰飽和度	%	77.2	40 - 60	やや高い
苦土飽和度	%	9.4	15 - 25	低い
加里飽和度	%	7.9	4 - 15	適正
石灰/苦土 当量比		8.2	2 - 6	高い
苦土/加里 当量比		1.2	2 - 5	やや低い
ホウ素	p.p.m	0.2 - 10		
マンガン	p.p.m	5 - 10		
亜鉛	p.p.m	30 - 100		
鋼	p.p.m	10 - 100		
可溶鉄鉱	p.p.m	8 - 10		
りん酸吸収量		-		

コメント	pHがやや高くなっています。 ECは適正值ですので基肥は基準どおり施肥しましょう。 腐植がやや不足しています。完熟堆肥か腐植資材を必ず投入しましょう。 りん酸は適性値です。JAの指示に基づいた施肥を実施ましょう。 加里飽和度は適正值です。JAの指示に基づいた施肥を実施しましょう。 苦土飽和度は非常に低下しています。
------	---



#### 資材投入量(案)

肥料名	成分量(%)			1haあたり 施肥量(kg)	1kg施肥成分量(g)	備考
	N	P	K			
牛糞堆肥				2000		
アツミン				80		
苦土石灰				40		
サンライム						
ようりん				30		
穀マグ				20		
硫酸カリ						
ミニラックス				20		
基肥				撒播どおり		

#### 分析項目ごとに コメント

各JAの栽培指針を参考に、資材の選定・施肥量を提案



肥料農薬課 土壤診断室

## 5. 土壌診断に基づく適正施肥指導による施肥コストの抑制

J Aグループでは、昭和45年から「土づくり運動」を農業生産の基本と位置付けて、土壤診断事業を実施してきました。当県本部においても、昭和51年から始まつた「くみあい園芸相談車」による現地土壤診断を皮切りに、現在も県本部独自の土壤診断室を設置し、県内JAの部会員および担い手の方々を中心とした診断事業を実施しています。各JAから提出された土壤（約3,000点／年間）の分析を実施し、分析結果に基づいて圃場別に、

得に関する活動を進めていきます。

また、前述した様々な対策を実施しながら、省内はもとより国内における肥料需要が減少していくなかで、化成肥料の生産効率を高め、より安価に肥料を安定的に供給できるよう、県内の施肥状況を分析しながら、更なる銘柄集約を進めていきたいと考えます。

## 6. 今後の取り組み

今後も県本部における様々な対応を継続していくますが、特に土壤診断を軸とした適正施肥の実施による施肥コストの抑制について、土壤診断結果を基にした処方箋の作成および説明を継続し、処方箋を活用した適正施肥指導の強化のため、県内JA指導員を対象とした講習会の実施等により、生産現場全体の適正施肥に対する認知度の向上と知識の習得に関する活動を進めていきます。

全農グループとして、肥料原料を安定的に確保するための国の肥料原料備蓄対策事業にも積極的に参画し、国内原料在庫の積上げに取り組みます。また、海外山元との関係を一層強化し、安定調達を図るとともに産地の切替えや多元化を継続しながら、今後も肥料価格の高騰を抑制し、安定供給を軸とした肥料供給事業を実施していきます。





## マーケティングの力で 食と産業を盛り上げる

私の料理人時代の宝物の一つとして、多くの農家、生産者の方々との出会いがありました。みなさん本当に素晴らしい方々ばかりでした。情熱とこだわり、そして人間性に触れることで、私は食材の大切さとありがたさを学びました。その経験から、もっと多くの人に生産者さんの魅力や商品のこだわりを届けたいという思いが芽生え、6次産業化（以下6次化）に興味を持つようになりました。

6次化っていうのはとても簡単に言うと「食べ物を作つて（第1次）それを使った商品を作り（第2次）販売する（第3次）ここまで一貫して考えましょう」というアイデアや取り組みのことです。

私は飲食店を10年以上営業し続けていたので、1次産業である生産こそで

きませんが、2次産業である商品開発のアイデア、3次産業である販売には結構自信があつたんですよ。

でも、レストランで使い切れる量には限界があつて、やむなく仕入れをお断りしなければならない場合もありました。味は同じなのに見た目が違うから売れない野菜も大量に廃棄になつてました。そんな食品ロス問題に対する意識をもつ

ているそうです。SNSを使ってやりたいことの方向性を決めるのも早かつたですね。SNSを使ってより多くの人に情報を届け

るために、少しだけテクニックが必要なのですが、そこは専門的に学んでいたマーケティングのノウハウが非常

### ■プロフィール■

主夫インフルエンサー、フードディレクター、マルチクリエイター。1989年3月20日生まれ、伊予郡砥部町出身。2009年に調理専門学校卒業、調理師免許取得。イタリアンレストランで12年間、現場と経営を学ぶ。30歳、体調を崩してドクターストップがかかり、専業主夫に転向。1年後、三児の子育てをしながらSNSで「おうちで作れるプロの味」レシピ動画を発信、現在の総フォロワー数は5万人。料理×マーケティングのノウハウを活かし、大手メーカーとのコラボ商品開発やメディア出演など、オンライン・オフライン共に幅広く活動中。「マーケティングの力で食と産業を盛り上げる」を理念とし「生産者の6次産業化支援」「家庭環境問題の緩和」「フリーランスの働き方改革」の3つのテーマで地域社会問題解決に向き合っている。FM愛媛の番組「noonday pop」（毎週月曜～金曜12：00～13：00）内の「JA全農えひめpresents パパイズムの食イズム」（毎週木曜12：05～12：15）で「食」情報を発信中。

# パパイズム

PAPAIZM



▲「パパイズムの食イズム」  
親子料理教室

実際にあつた事例で言うと、SNSのメッセージに他県の農家さんから「うちの野菜を使って感想を聞かせてほしい」や「野菜を使ってレシピ開発をしてほしい」といった依頼です。届いた野菜を使ってレシピ動画を撮影し、同時に商品のこだわりや魅力を伝えることでたくさんの方々に見てもらえるきっかけを作ることはやりが

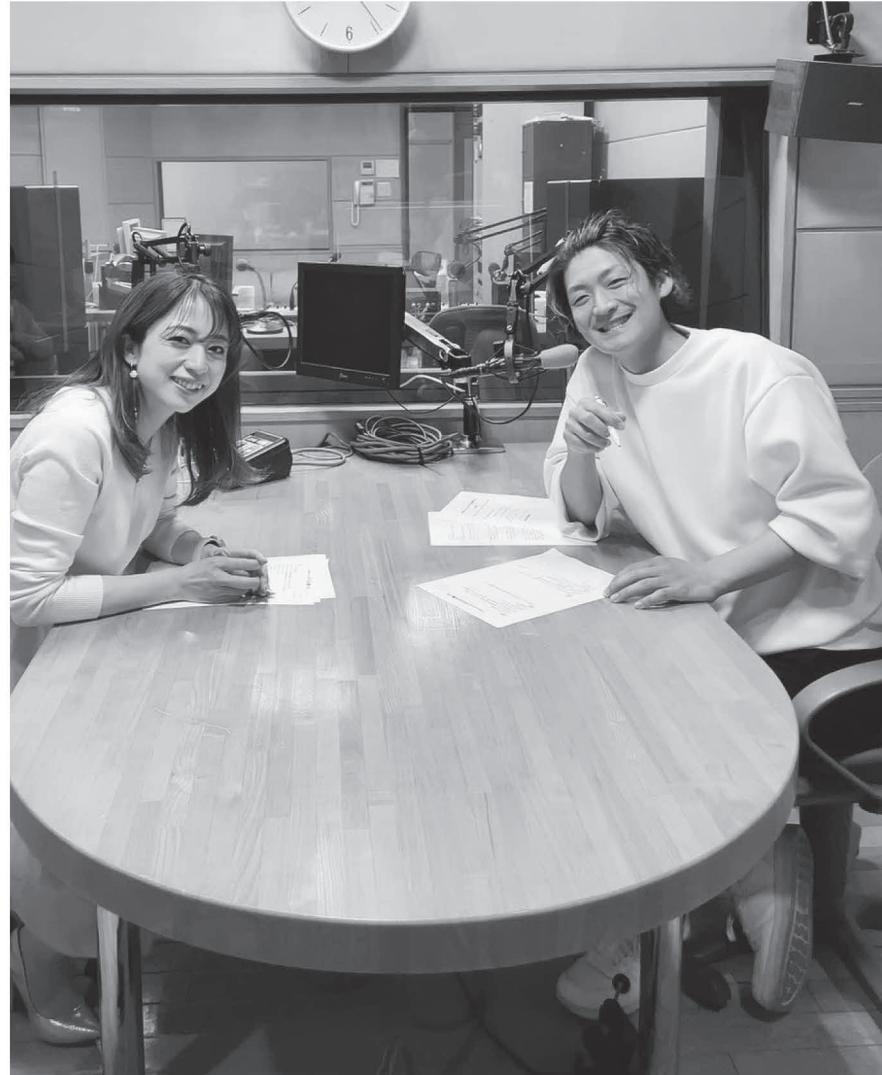
に役に立ちました。

実際にあつた事例で言うと、SNSのメッセージに他県の農家さんから「うちの野菜を使って感想を聞かせてほしい」や「野菜を使ってレシピ開発をしてほしい」といった依頼です。届いた野菜を使ってレシピ動画を撮影し、同時に商品のこだわりや魅力を伝えることでたくさんの方々に見てもらえるきっかけを作ることはやりが

いにも繋がりました。

他には、昨年の4月からJJA全農えひめプレゼントのラジオコーナー「パパイズムの食イズム」を担当させていただきます。はだか麦を使つた商品のレシピプロデュースにも関わらせていただしたり、改めて食と向き合う良いきっかけになっています。

食べ物は私たちの生活の一部であり、その背後には多くの人々の努力と情熱があります。私はその努力を支えるために、「ヒト、モノ、場所」の魅力や価値を引き出すお手伝いがしたい。生産者と消費者のより密接なつながりを増やして地域経済を盛り上げていきたい。そんなキレイごとを胸に、これからも学び続けます。



▲FM愛媛にて、ラジオの収録風景。パーソナリティの山崎愛さんと

つなぐ橋渡し役になる可能性を大いに感じたのです。飲食店の時と違つて自分で在庫も持たなくて済むし、広告費もなく情報を届けられるので、ありがたいですね。

また、第1次産業のプロフェッショナルである生産者の皆さまと関わる中で、生産業は徐々に年齢層も上がってきており、新しいツールやITの導入への難易度が高く、抵抗がある方も多いということを再認識することができました。

今後の展望の一つとして、私は自分の得意なSNS（IT）やAIを活用し、マーケティング×テクノロジーの力で地域産業の課題解決や魅力のシェアに挑戦していきたいと考えています。

食べ物は私たちの生活の一部であり、その背後には多くの人々の努力と情熱があります。私はその努力を支えるために、「ヒト、モノ、場所」の魅力や価値を引き出すお手伝いがしたい。生産者と消費者のより密接なつながりを増やして地域経済を盛り上げていきたい。そんなキレイごとを胸に、これからも学び続けます。

# トピックス



「いい予感が当たりますように」と配布

境内に「合格まで風邪をひかずに頑張ろう。愛媛いよかん＝いい予感」の天幕を掲げ、SPレディが、お祓いを受けたいよかんとメセージの入った袋を前に、参拝される受験生やその家族に「いい予感が当たりますように」「縁起のよいよかんです」と配布しま

J A全農えひめ果実課は、愛媛県が全国生産量の約9割を占めるいよかんをPRしようと、1月13日、東京都文京区の湯島天神の境

内で、合格祈願のお祓いを受けた「愛媛いよかん」を参拝者1、500人に無料配布しました。

この取り組みは、「がんばれ受

験生！『愛媛いよかん』＝

「いい予感」をコンセプトに、合格の縁起物として毎年実施しており、今回で39回目。受験シーズンの恒例行事になつており、合格祈

願で参拝する受験生や家族に合格の縁起物として喜ばれています。



愛媛いよかんポスター

●がんばれ受験生！「愛媛いよかん」＝いい予感」

した。

本年産の玉太りはやや小ぶりで、糖酸とともに高く、美味しいうよかんに仕上がっています。「愛媛いよかん＝いい予感」、「色よし、味よし、香りよし3拍子揃つたいよかん」をキヤッチフレーズに、今後もPRを開します。



受験生へのメッセージも添えています

令和5年度愛媛県総合畜産共進会「肉牛・肉豚の部」「交雑種・乳用種の部」

## 農林水産大臣賞に谷口貴さんと伊予スワインガーデン



伊予スワインガーデン城戸場長（左）と谷口さん（右）



肉牛セリの様子

大洲市のJAえひめアイパック本社工場で、12月2日、令和5年度愛媛県総合畜産共進会「肉牛・肉豚の部」、「交雑種・乳用種の部」の審査・表彰式が行われました。共進会は、県畜産協会が主催。農林水産大臣賞は肉牛の部で優等賞首席の谷口貴さん（JAえひめ南）、肉豚の部で優等賞首席の伊予スワインガーデン（JA西）

日本ぐみあい飼料（株）が選ばれました。また、農林水産省畜産局長賞は肉牛の部で優等賞次席の堀内博さん（JAひがしうわ）が選ばれました。

### 肉牛の部（黒毛和種）は33頭、

交雑種・乳用種の部は11頭が出品。肉牛の部では体型が良く、脂肪の質も良好で、肉質5等級以上

が84・8%。生産者の肥育技術の高さが数値に現れた共進会となりました。

大臣賞受賞の谷口さんは、「大臣賞に選ばれて嬉しい」と受賞を喜びました。肉豚の部では、全体的に体型が良く、肉質面では良好な仕上がり。脂肪の質・色も良く、等級「上」以上の割合は86・9%でした。

大臣賞を受賞した伊予スワインガーデンの城戸場長は、「養豚生産基盤の維持、拡大に貢献でき、とても喜ばしい」と笑顔を見せました。

授賞式の後には、購買者22社が参加してJA全農ミートフーズ（株）主催の肉牛のセリを実施。会場への入室は衛生対策のため、購買者のみに限定し、生産者はセリの様

が84・8%。生産者の肥育技術の高さが数値に現れた共進会となりました。

子を別室においてリモート配信で視聴しました。

1kg単価は谷口さんの出品牛が

最高で、4,100円（購買者）（株）篠崎畜産精肉直売店）。黒毛和種の平均単価は2,568円と高

値で取引されました。

その他の受賞者は次のとおり（敬称略・カッコ内はJA名）。

**【肉牛の部】◆優等賞△3席△秦裕人（ひがしうわ）△4席△関平**

畜産（同）△5席△西野雅詞（松山市）◆1等賞△堀内誠（ひがし

うわ）、土居原克彦（同）、山下祥雄（えひめ中央）、山岡造（愛媛たいき）、越智逸雄（周桑）

**【肉豚の部】◆優等賞次席△（有）菊間仙高牧場（おちいまばり）**

**【交雑種・乳用種の部】◆優等賞（有）とう（松山市）**

第46回えひめみかん祭り

## 県内各地のかんきつ20種類以上を一堂に集め愛媛県産かんきつの魅力をPR!

愛媛県果樹同志会、愛媛県、J A全農えひめなどは、1月20日（土）・21日（日）の2日間、いよいよ高島屋8階スカイドーム特設会場で、愛媛県産のかんきつを一堂に集め、「第46回えひめみかん祭り」を開催しました。

このイベントは、愛媛県産かんきつのPRと消費拡大、愛媛果樹農業の振興を図るため、生産者と消費者の交流イベントとして毎年開催しています。

当日は、県内各地から選抜された果実コンクール出品果実約200点をはじめ、いよかん・ポンカン・せとかのほか、愛媛オリジナル品種の「紅まどんな・甘平」など数多くのかんきつ、加工品な

どを試食販売しました。また、「みかんガチャ」や「ポンジュース蛇口」、楽しく学べる「みかん○×クイズ」など楽しい催しを行い、会場を盛り上げました。

また、「オレンジロード」の取り組みの一環として、11月から4月までの6か月間、イベント電車「みかん電車」を運行しています。

「みかん電車」の運行と合わせて絵画コンクールを開催し、238点の応募作品の中から入賞作品34点を決め、上位入賞者4名を表彰しました。コンクールの最優秀賞および優秀賞の受賞者は次のとおり（敬称略）。

▽最優秀賞：後藤緒里  
▽優秀賞：谷東柚、藤原波瑠、高

田禪



優秀果実の展示



約20種類のかんきつを販売



(左から) 谷東さん、後藤さん、藤原さん、高田さん



みかん○×クイズ

## 農林水産大臣賞に山岡篤さん（果実）と 福田慎一さん（ほ場）

愛媛県かんきつの品質向上と果樹農家の生産意欲の高揚に向けて行われた「第46回えひめみかん祭り」（果実・ほ場・柑橘園地若返りコンクール）の結果が、1月20日、「えひめみかん祭り」会場で発表されました。農林水産大臣賞（優秀賞）には果実が山岡篤さん（えひめ中央）の「宮内伊予柑」、ほ場では福田慎一さん（えひめ中央）の「愛媛果試第28号（施設）」の園地が選ばれました。

その他のコンクール受賞者は次のとおり（敬称略・カッコ内は品種名・JA名）。表彰式は、3月22日開催予定の愛媛県果樹同志会大会で行われます。

### 【果実コンクール】

▽優等賞＝澤近瑛平（太田ポンカン・えひめ南）、濱田武司（南柑20号・えひめ中央）、清水勝正（甘平・にしうわ）、岡宮寿（愛媛果試第28号・えひめ中央）、滝本則男（はれひめ・おちいまばり）、青井農園株（不知火・えひめ中央）、石田英久（せとか・同）、福田正昭（レモン・おちいまばり）▽優良賞＝赤松正月（南柑20号・えひ

め南）、家木敬子（はるみ・えひめ中央）、有田宗博（宮内伊予柑・同）、情家大志（今津ポンカン・えひめ南）、長尾伍大（甘平・えひめ中央）、野本潤也（愛媛果試第28号・同）、秋元孝子（不知火・同）、政岡俊一（せとか・同）、渡部憲明（はれひめ・おちいまばり）、門菊地吉洋（清見・にしうわ）、門屋誠（宮内伊予柑・えひめ中央）、西山聰（青島・同）、松岡誠敦（ブラッドオレンジ・えひめ南）、白石藤太（宮内伊予柑・にしうわ）、俊成吉洋（南柑20号・えひめ中央）、石崎崇史（川野甘夏・同）、有田政司（宮内伊予柑・えひめ中央）、二宮喜信（南柑20号・えひめ南）、石丸徹志（紅八朔・えひめ中央）

### 【ほ場コンクール】

▽優等賞＝清家辰徳（南柑20号・えひめ南）、山内将男（せとか・えひめ中央）▽優良賞＝中山真一（愛媛果試第28号（施設）・同）、楠本安政（南柑20号・にしうわ）

▽優秀賞＝山下茂雄（愛媛果試第48号・えひめ南）

## かんきつ一色に飾りつけた電車で県産かんきつをPR



「みかん電車」で期間限定イベント

J A全農えひめは、2009年から「バレンタインデー」や「ホワイトデー」に続くカップルの記念日として、愛媛発祥の4月14日「オレンジデー」を提唱し、11月14日（みかんの日）から始まり、1月14日（いい予感）、2月14日（告白）、3月14日（告白の返事）、4月14日（愛を深める）といったストーリー性を持たせ、「愛のオレンジロード」企画の取り組みを開しています。

その取り組みの一環として、11月から4月までの6か月間、愛の記念日ごとに中吊りポスターや車

体側板などのデザインが変化する「みかん電車」を運行しています（全5部構成）。

また、文学のまち松山にもオレンジロードと愛媛県産かんきつのPRを実施します。

あわせて、幼稚園・保育園に通う園児を対象に、「だいすき！えひめのみかん」をテーマにした絵画コンクールを開催。最優秀・優秀作品は2月15日から29日までの期間限定でみかん電車内にて展示します。



 **ひめライス新米キャンペーン抽選会**

## キャンペーン当選者600人が決まりました！

ひめライス新米キャンペーン抽選会



J A全農えひめと県内報道機関との意見交換会

## J A全農えひめの認知度向上へ

JA全農えひめと県内報道機関との意見交換会

（株）ひめライスは、11月15日、松前町の本社で、「ひめライスキャンペーン」の抽選会を行い、松田一人社長らが、約14,000通の応募の中から当選者600人を選びました。

メイン賞品、伊予牛「絹の味」や「ふれ愛・媛ボーグ」などのA・E賞の5コースと、令和5年産「ひめの凜（ハイクオリティ2kg）」が当たるWチャンス賞が用意されました。

今年度のキャンペーンはひめライス60周年を記念し、「60周年新米キャンペーン」と題し年に1回の開催として9月から10月にかけて2カ月間実施しました。開始時期を県内産早期米の新米出荷時期と連動させることで新米登場をアピールし消費者に広く「新米」の魅力を発信。キャンペーンイメージキャラクター「米ベーブ」を起用したCMの放映や店頭での新米



抽選する松田社長（中央）

コーナーの設置等、積極的に新米のPRに取り組みました。

応募ハガキには、「毎年、キャンペーンの時期が楽しみです」「毎日美味しくひめライスの商品を食べています」などの声が寄せられました。

今後も県内産米のPRと販売拡大を目指します。

JA全農えひめは11月29日、JA農えひめの活動や自己改革の取り組みについての理解につなげようと、県内報道機関との意見交換会を開きました。県内報道機関とJA全農えひめの代表者ら16人が出席しました。

関岡光昭県本部長は「本会の活動や新しい取り組みを積極的に情報提供していく。お互いの関係を深める時間にしたい」と話しました。

報道機関からは、円安・物価高の影響についてや、農業の後継者不足に関してなどの質問がありました。

JA全農えひめは、県内報道機関と連携をとりながら、全農の認知度向上や理解促進、地元農畜産物のPRを目的に、对外広報に力を入れていきます。



JA石碑・お仏壇大展示会

**墓石などを豊富に取り揃えて  
展示販売！**



J A全農えひめと県内JAは、11月25日、26日の2日間、(株)イフイ本社(石手寺前本社)及び県内8営業店舗の特設展示場で、JA組合員限定の「JA石碑・お仏壇大展示会」を開催しました。

会場には、セット墓から小物、仏壇まで大奉仕品を数多く展示しました。良質で厳選された愛媛の銘石「大島石」など各種石碑を豊富に取り揃え、墓石の完成時の形がイメージできるよう展示。期間中多くの方が来場しました。



関岡県本部長(左)と山本常務(右)

す。 40回目で しており、今 から毎年実施 福祉施設の子 どもたちが明 るいお正月を 迎えられるよ うに昭和59年 から毎年実施 しております。

J A全農えひめは、愛媛県社会福祉協議会を通じて県内15の児童福祉施設に、「ひめライス」のもち米560kgと「POMアシタノカラダみかんジュース」「POM愛媛ひめぽん」「POM愛媛ぽんかん」のジュース103ケースを贈りました。

松山市のJA愛媛で12月6日に行つた贈呈式では、JA全農えひめの関岡光昭県本部長が同協議会の山本泰士常務理事に目録を手渡し、同協議会からJA全農えひめに感謝状が贈られました。

この取り組みは、社会貢献活動の一環として、県内児童

社会福祉協議会贈呈式

**県内15の児童福祉施設に、  
もち米とジュースを提供**



今後も他の県内JAの参加を呼びかけ、さらなる事業拡大を目指します。

JAえひめ未来、JAおちいまばり、JA今治立花、JA松山市)が形成する「愛媛県JA農機協同事業体」に令和6年1月よりJA愛媛たいきが新たに参加しました。

J A愛媛たいきの参加にあたり、1月9日にJA愛媛ビルで出発式を行い、関岡光昭県本部長がJA愛媛たいきの担当者に訓示を述べました。

この事業体は、JA農機事業の持続的発展を目的に設立。県内6JAと全農愛媛農機事務所が一体となり、効率的な業務体制を構築し、サービス力の向上に取り組みます。

また、全農によるマネジメント強化により、収支改善・コンプライアンス強化に取り組みます。

県内JAの農機事業一体化を拡大

**J A愛媛たいきが参加！**

2023 JA愛媛農機ビッグフェア

## J A 農機の総合展示会開催



会場では多数の農機等を展示

全農愛媛農機事務所・JA全農えひめは12月8日・9日の2日間、松山市のアイテムえひめで、系統取扱メーカー等の協力を得て、県内統一の農機総合展示会「2023 JA愛媛農機ビッグフェア」を開催しました。

フェアは農家組合員との対話・訪問推進を通じた信頼関係の構築による農業機械の適正購入などを目的に毎年開催しており、32回目の開催。

今年は展示規模をコロナ前に戻し、各社充実した展示のほか、キッチンカー来場や各種イベントを実施しました。

JA全農えひめコーナーでは、米の食味分析や土壤簡易分析等を実施。特設ステージイベントでは、セリ方式オークションやbingo大会をおこない、会場を盛り上げました。

期間中は、県内JA等から823人が来場し、最新農機のデモンストレーションなどを通じて性能や特徴などを確認しました。

JA全農えひめコーナーでは、米の食味分析や土壤簡易分析等を実施。特設ステージイベントでは、セリ方式オークションやbingo大会をおこない、会場を盛り上げました。



bingo大会で大盛り上がり



愛媛県くり研究同志会とJA全農えひめは、12月6日JA愛媛で令和5年度愛媛県くり品評会の表彰式を行い、農林水産大臣賞に立木部門の福井義夫さん（JAひがしうわ）、果実部門の山村信昭さん（JAえひめ中央）をはじめ受賞者を表彰しました。

立木部門で農林水産大臣賞を受賞した福井さんの園地は、樹齢15年～20年生で、若木期からの低樹高栽培により、樹冠内部まで光が

熱心な土づくりとマシン油乳剤を秋肥のほか、石灰資材、堆肥などを含め、年間5回以上の防除を実践されており、こうした管理の積み重ねにより、樹勢は良好で、葉の色つやが良く、樹勢のバラつきが少なく、連年安定生産につながっている点などが高く評価されました。

果実部門で大臣賞を受賞した山村さんの出品した「紫峰」は、果実の大きさ、果皮の光沢、果実の揃いが素晴らしく、まさに愛媛県を代表する最高級品であり、審査員全員一致での選定となりました。

※受賞者は12月号12ページのトピックニュースで紹介しています。

令和5年度愛媛県くり品評会表彰式

## 農林水産大臣賞の福井義夫さん、山村信昭さんらを表彰

差し込み、隣樹との好適な樹冠間隔も維持されており、園全体が明るく保たれていました。また、筑波、石鎚、銀寄など7品種を栽培しているのも特徴的で、結実の安定が図られていました。

栽培管理面では、基肥・夏肥・秋肥のほか、石灰資材、堆肥などを含め、年間5回以上の防除を実践されており、こうした管理の積み重ねにより、樹勢は良好で、葉の色つやが良く、樹勢のバラつきが少なく、連年安定生産につながっている点などが高く評価されました。

## 「はだか麦のまろやか黒酢」を使った料理に挑戦！

1月5日、JAえひめ中央内の「JA Kitchen Studio」にて、総勢28名、12組の親子が参加し、冬休み親子料理教室が開催されました。



このイベントは夏休み親子料理教室の第2弾として開催され、前回より応募数が増え、25組の応募から抽選で、12組が選ばれました。FM愛媛の番組「パパイズムの食イズム」でおなじみのパパイズムさんと山崎愛さん<sup>(マナ)</sup>の進行のもと、今回は、「サーモンカルパッチョ」と「たまごあえパスタ」に挑戦。参加した親子からは「簡単だったでの家でも作れそう」「パスタをフライパンに入れるのが面白かった」「ゆっくり子供と料理をする事がなかつたので、パパイズムさんに楽しく教えていただきながら出来てよかったです」など笑顔を見せていました。

この模様は1月11日「JA全農えひめpresentsパパイズムの食イズム」で放送されました。

## 農業経営基盤強化研修会

12月21日、JA愛媛で、JAグループ愛媛担当手サポートセンター連絡協議会の主催で「農業経営基盤強化研修会」が行われました。この研修会は、農業従事者の高齢化が進む中、法人化による持続的な農業の展開や、担い手への円滑な経営承継を推進していくことが急務となつております。活動事例等を通じて法人化や事業承継の必要性と進め方を学ぶために開催されたものです。

公認会計士・税理士の影浦浩一氏による「農業経営の事業承継と法人化について」の講演では、事業の承継について、父の経営する農業をご子息・ご息女が承継することを想定した場合に、所得税、消費税、農業用資産の承継がどうなるのか、また、農業法人化することのメリット・デメリットなどの説明があり、参加したJA関係者約50名は熱心に聞き入っていました。



公認会計士・税理士 影浦 浩二氏



研修では、JA全農えひめ営農支援課より、農家が短期労働力をパートタイムで雇うために注意しなければならないポイントとして、必ず入るべき労災保険や、良い求人チラシの作り方、離職せないためのコミュニケーションの必要性などについて説明がありました。

愛媛みかん大使、紅まどんなをPR

## 松山空港で観光客にプレゼント



抽選会に並ぶ空港利用者

11月16日に販売が解禁された、愛媛オリジナル品種「紅まどんな」の最盛期を前に、愛媛みかん大使が、11月25日松山空港でPRイベントを行いました。会場には無料で挑戦出来るくじ引きコーナーを設置し、空港の利用者にくじを引いてもらい、紅まどんなか温州みかんのいずれかをプレゼントしました。

このイベントは「紅まどんな」の魅力を県外の人に知つてもらうため、昨年から実施しており今年で2回目。紅まどんな200人分、温州みかん300人分の計500人分を用意し、「紅まどんなが当



手渡しする愛媛みかん大使たち

たりますよ」のかけ声とともに空港利用者が列を作りました。

当たった方からは「神奈川に住んでるんですけど、滅多に食べられないものなので嬉しいです」「今日はついてるかなみたいな感じで嬉しい！お家の旭川に帰つてから雪の中で食べます」など笑顔で持ち帰っていました。

今年度の紅まどんなは、JA全農えひめ果実課によると「夏の高温、少雨の影響で小玉傾向だが、糖度が高く、おいしい仕上がり」とのこと、今年度の販売は2,475トン（12月末累計実績）が出荷されています。



愛媛生活推進課は、1月16、17日の2日間イオンモール今治新都市で「全農フェア～日本の食と農を応援しよう～」を開催しました。

このイベントは地元旬野菜やエーコープマーケ商品を、直売所と組合員・お客様とのコミュニケーションのツールとして活用し、販売促進と組合員・顧客の確保・新規お客様の獲得を目指しています。



フェア中は、築野食品工業、大興産業、大島食品工業、伊那食品の販売員とともに試食・試飲による商品紹介を行いました。参加者は「美味しい！こんな使い方もあるんですね。家でやってみます！」などの声がありました。

全農フェア

## 日本の食と農を応援しよう！

## 松山中央郵便局で 1日郵便局長に就任



果汁、豊かな香りを楽しんでほしい」と紅まどんのPRも行いました。

2023愛媛みかん大使の小島碧子さんが、年賀状の引受開始となる12月15日、松山中央郵便局にて1日郵便局長に就任しました。当日の9時より、年賀状を差し出された方、先着30名様に紅まどんな2個をプレゼント。受け取った方は「とても嬉しい、家に帰つて早速食べてみます」と笑顔を見せていました。

小島さんは、年賀状早期差出への協力を呼びかけ、「まるでゼリーのような食感と甘い香りを楽しんでほしい」と紅まどんのPRも行いました。



段ボール工場の視察

参加者は、「産地のことを良く知れた。これから自信を持って販売したい」と話していました。現在、約120人がSPレディとして活動しており、愛媛産かんきつ販売の大戦力になっています。

## 店頭で愛媛産かんきつの魅力や 生産者の思いを発信します！

J A全農えひめ果実課は、首都圏でSP（セールスプロモーション）レディによる店頭試食宣伝活動を通じて、愛媛県産かんきつを愛媛県に招き、「SPレディ産地研修会」を開催しました。

この研修会は、産地訪問を通じて、SPレディの皆さんに産地・生産者の思いや苦労などを含めて愛媛県産かんきつの魅力を肌で感じてもらいたい、店頭でより効果のあがるPRと販売拡大につなげようと行っています。今回は、中晩柑類の出荷本番を前にJ Aおちいまばりのしまなみ柑橘共同選果場やJ A全農えひめの段ボール工場の視察などを行いました。

坂本さんは、2012年に生産・販売団体「穂田琉」を立ち上げ無農薬や有機栽培で高品質の米作りをしています。2020、21年に「米・食味分析鑑定コンクール」で最高賞「ひめの凜食味コンテスト」で最優秀賞を受賞と、地元の資源を最大限に有効活用し、持続可能な里山保全に取り組まれています。

## 農林水産部門で 坂本憲俊さんが受賞！



「ひめの凜食味コンテスト」では最優秀賞を受賞と、地元の資源を最大限に有効活用し、持続可能な里山保全に取り組まれています。

# | R | E | A | D | E | R | S | 通 | 信 |

農の風景を読んで。今年もかんきつ類を毎日食べる冬です。かんきつ農家の皆さんに、有り難く感謝しています。若い人のかんきつ栽培の大変さを充実感にして取り組んでいる姿に元気をもらいます。中晩柑の袋かけを一つついでいねいに作業されている様子が伝わり、頭が下がります。感謝して食べます。

(四国中央市・P.N.:T・Nさん)  
編愛媛県は温州みかんの収穫量では和歌山県に次ぐ2位ですが、中晩柑類では和歌山県を引き離して日本一。また、品目数でも40種類以上あり、こちらも日本一です。JA全農えひめも感謝を忘れず、農業人を応援していきます！

ふるさとESSAYを読んで。自分が得意とする分野、料理で仕事も家族との時間も充実した毎日にとってあこがれを感じました。今の時代、SNSで家にいながら自分の好きな事を仕事として活躍できるすごいツールだと改めて思いました。

(松山市・植島佳子さん)  
編パパイズムさんは、Instagram4万人フォロワーだけでなく、テレビやラジオでも大変活躍されています！1月5日は冬休み親子料理教室で御一緒させていた

だき、大好評で終了いたしました。その模様は17ページに掲載しております。是非、ご覧ください。

えひめのはだか麦は生産量日本一!! のチラシにびっくりしました。はだか麦商品も多数あるようで、商品紹介と料理方法などおすすめがあれば嬉しいです。「スーパームギムギマン」がかわいいです

(新居浜市・P.N.:Y・Mさん)  
編愛媛のはだか麦は、36年連続生産量日本一を続けています！料理方法ですが、JA全農えひめトップページのえひめの食→えひめの食レシピ→米麦の食材レシピの順でクリックいただきますと、7品のレシピを掲載しております。是非、ご覧ください。

えひめスイーツコンテスト×とべもり+(プラス)を読んで。県産農畜産物を使った新しい菓子のアイディア公募の取り組みは未来の若年の(パティシェ)励みになるイベントとして素晴らしいことと思います。

(松山市・PN:dodopapa58さん)  
編えひめスイーツコンテストは、2009年から始まり15年目を迎えています。主催

はえひめ愛フード推進機構と愛媛新聞社で今年度はとべもり+ネットワーク協議会とのコラボになりました。JA全農えひめは、共催として、2009年からこのイベントを応援しています。

## お知らせ

### 読者名簿 更新について

J A 全農えひめ情報誌「あぐり～ど」は、愛媛県内JAの役員（非常勤理事・監事含む）・職員、生産組織や女性組織のリーダー、県行政や関係機関、県内報道機関を対象に無料配付しています。

読者名簿の更新を随時行っています。名簿更新により、新たにお届けする方とお届けできなくなる方がいらっしゃいます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 編集後記

令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さんに心からお見舞い申し上げます。

皆さまの安全と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

## 今月の クイズ

第46回「えひめみかん祭り」のテーマは？

「愛媛で育む愛あるみかん  
あなたへ○○を届けます」

### プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を5名様にさしあげます。



### 応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などを書き添えの上、ご郵送ください。

### 締切り

2024年3月15日（当日消印有効）

### 当選者発表

12月号の答えは「愛媛ブランドを~~ま~~めへ！愛ある果実を消費者へ！」でした。たくさんのお便りありがとうございました。

厳正な抽選の結果、次の5の方に図書カード1,000円分をお送りします。

浅海千賀子さん（今治市）  
篠崎毅さん（伊予市）  
伊藤光代さん（松山市）  
高橋智茂さん（松前町）  
阿部喬子さん（今治市）

### 発表

「あぐり～ど」4-5月号で発表します。

# NOW NOW

# COOKING

▶(左) きんぴらブロッコリー、(右) ブロッコリーのナムル、(左)

今月の素材

## ブロッコリー



指導／愛媛調理製菓専門学校 山崎 翔先生



緑色はあざやかで、軸は太く、ドーム型の重量感のあるものを

### ブロッコリーの卵とじ

材料・4人分	※1人あたり約103kcal
ブロッコリー	1/2株
豚バラ肉	50g
卵	2個
塩	適量
コショウ	適量
水	200cc
Ⓐ 鶏がらスープの素	小さじ1
オイスターソース	大さじ1
濃口醤油	適量
水溶き片栗粉	適量

#### 作り方

- ①ブロッコリーを小房に分け、少しかため下茹です。
- ②豚バラ肉を一口大に切り、卵は溶きほぐし塩・コショウを混ぜておく。
- ③熱したフライパンで豚バラ肉をサッと炒め、ブロッコリーと卵を加え、軽くかき混ぜながら加熱する。
- ④卵が半熟で固まりしたら器に盛る。
- ⑤Ⓐを鍋に合わせ温め、水溶き片栗粉でとろみをつけて④にかけ、完成。

### きんぴらブロッコリー

材料・4人分	※1人あたり約128kcal
ブロッコリーの芯	1本分
人参	100g
ベーコン	50g
酒	大さじ3
Ⓐ みりん	大さじ1
濃口醤油	大さじ1
砂糖	小さじ2
一味唐辛子	適量
ごま	適量
ごま油	小さじ1

#### 作り方

- ①ブロッコリーの芯、人参、ベーコンを千切りにする。
- ②フライパンにごま油を引き、①を炒め、Ⓐを加える。
- ③好みのかたさになったら火を止め、一味唐辛子とごまを加え、全体に和える。
- ④器に盛り、上からごまを散らして完成。

### ブロッコリーのナムル

材料・4人分	※1人あたり約13kcal
ブロッコリー	1/2株
鶏がらスープの素	小さじ1/2
ごま油	小さじ1
ごま	適量
Ⓐ 塩	適量
韓国ねり	1枚

#### 作り方

- ①ブロッコリーを一口大に切り分け、下茹です。
- ②①をザルにあげ、粗熱をとる。
- ③②をボウルに移し、Ⓐを加え和える。
- ④器に盛り、手でちぎった韓国ねりをちらして完成。

株式会社 えひめ飲料

〒791-8603 松山市安城寺町478番地  
TEL:0120-591-516 FAX:089-923-1522

<https://www.ehime-inryo.co.jp>  
(通販専用) <https://www.pom-j.com>

愛媛みかん

2024  
2-3月号

No.1037

● 発行／全農愛媛県本部 〒790-8555  
● 編集部／総務課 (000)948-53323

● 印刷／松山市南堀端町2番地3

● 編集人／石丸  
保博

VOC  
FREE

VOC(揮発性有機化合物)成分フリーの  
インキを使用して印刷しました。

UD  
FONT

きれいな肌は、  
きれいな服より  
恋を実らせると思う。

ビタミンCを摂取しよう！

愛を伝えるものって  
バラの花以外にない  
と思ってました。

オレンジも“愛のシンボル”

みかんの  
季節到来とともに  
受験と恋の季節が  
やってくる。

ドキドキが止まらない！

家族とこたつと  
みかん。  
心地よいぬくもり。

みかんが人をつなぐ。

カラダに「愛」を。  
ココロに「愛」を。

## 愛媛のみかん

### 愛のオレンジロード

オレンジは“愛のシンボル”。「オレンジデー」までの記念日に贈り合って、大切な人との絆を深めませんか。

11/3  
12/3

みかんの日

恋するシーズンの到来  
(旬の柑橘)温州みかん、紅まどんな、POM 愛媛みかん旬ストレート100

1/14

いい予感

恋愛成就のいいきざし  
(旬の柑橘)伊予柑、ポンカン

2/14

バレンタインデー

愛を届けよう  
(旬の柑橘)伊予柑、ポンカン、はるみ、甘平

3/14

ホワイトデー

愛に応えよう  
(旬の柑橘)デコポン、せとか

4/14

オレンジデー

愛を深めよう  
(旬の柑橘)清見タンゴール、カラマンダリン

4.14

Orange day

了りで、おします。

JA全農オレンジマーク

詳しい内容はホームページをチェック!

[愛のオレンジロード](#) [検索](#)

J A 全農えひめ



「JA全農えひめ」Instagram  
Follow Me!



「えひめの食」Instagram  
Follow Me!



あぐり～どはWEBでも読めます  
<https://www.zennoh.or.jp/eh/about/information/>